

商工会議所のキャリア教育活動が高評価

日本商工会議所では、商工会議所をはじめ、市民、企業、NPO、各種団体などが一体となって行う「社会総がかりでの教育再生」を提唱している。こうした中、各地の商工会議所では、会員企業などの協力を得て、インターンシップの受け入れなど、さまざまなキャリア教育事業を実施。こうした活動は、全国に広がりを見せている。

昨年11月に、日商が「えい」が分かった。全国514商工会議所を対象に実施した「教育支援・協力活動に関するアンケート調査」では、回答のあった385商工会議所（回答率74.9%）のうち、203商工会議所が何らかの「教育支援・協力活動」を実施しており、実施率は6割を超

キャリア教育推進連携表彰・最優秀賞

横須賀商工会議所

同所は、市内の中学校に対し、キャリア教育プログラムを作成支援をはじめ、地元企業360社で構成する「キャリア教育応援団」から職業人講師（MTT）を派遣、さら

に職場体験受け入れ事業所のカリキュラム作成などを行っている。本事業では、横須賀市・横須賀市教育委員会と連携し、同所内に「よこすかキャリア教



キャリア教育推進連携表彰を受ける横須賀・菊池匡文事務局長（上写真・右）と瀬戸市教育委員会・大澤義洋教育長（下写真・右）

育推進事務局」を設け、地域で働く大人が子供たちの教育に関わることで、「職業に対する興味」や「働くことの意味」を考えさせることにも、横須賀の未来を担う産業人を育成し、地域を活性化させることを目的に活動している。

キャリア教育推進連携表彰・優秀賞

瀬戸商工会議所

同所は、地元企業の協力で行う職場体験や、地域で働く経営者・企業人で構成する市民講師による出前授業を、瀬戸市内の全ての小・中学校で実施している。

「瀬戸がまるっとセンセイになるとき」をテーマに、同所が行政、教育委員会、小・中学校、企業、商店街と連携して17年に「瀬戸キャリア教育推進協議会」を設立。小・中学生を含む多くの若者に職業への関心を持ってもらうことで、地域の産業や経済に活力をもたらすための活動を展開している。子供たちに地元の産業を知ってもらうとともに職業観を養ってもらうことは、地域の持続的な発展に不可欠な取り組みとなっている。



産業省と文部科学省が実施した事業が、経済産業省と文部科学省が今年度創設した「キャリア教育推進連携表彰」で、最優秀賞と優

秀賞を受賞。また、併せて開催された「第2回キャリア教育アワード」がそれぞれ表彰された。

合言葉に、同所が行った「地域で働く大人が子供たちの教育に関わることで、職業に対する興味」や「働くことの意味」を考えさせることにも、横須賀の未来を担う産業人を育成し、地域を活性化させることを目的に活動している。

「地域社会の資源を教育に生かす」という側面と、「将来の地域の発展のため産業の担い手を育てていく」という産業振興の側面から、2つの大きな目標を提示。その上で、地域の関係者が一体となって市全体でキャリア教育に取り組んでいることが今回の受賞理由となった。また、こうした活動は、他地域が行う際の模範ともなるとして評価された。

「ド」では、福井商工会議所青年部（YEG）が「地域ネットワーク型キャリア教育部門」で最優秀賞（経産大臣賞）を受賞。さらに、各部門の最優秀賞の中から